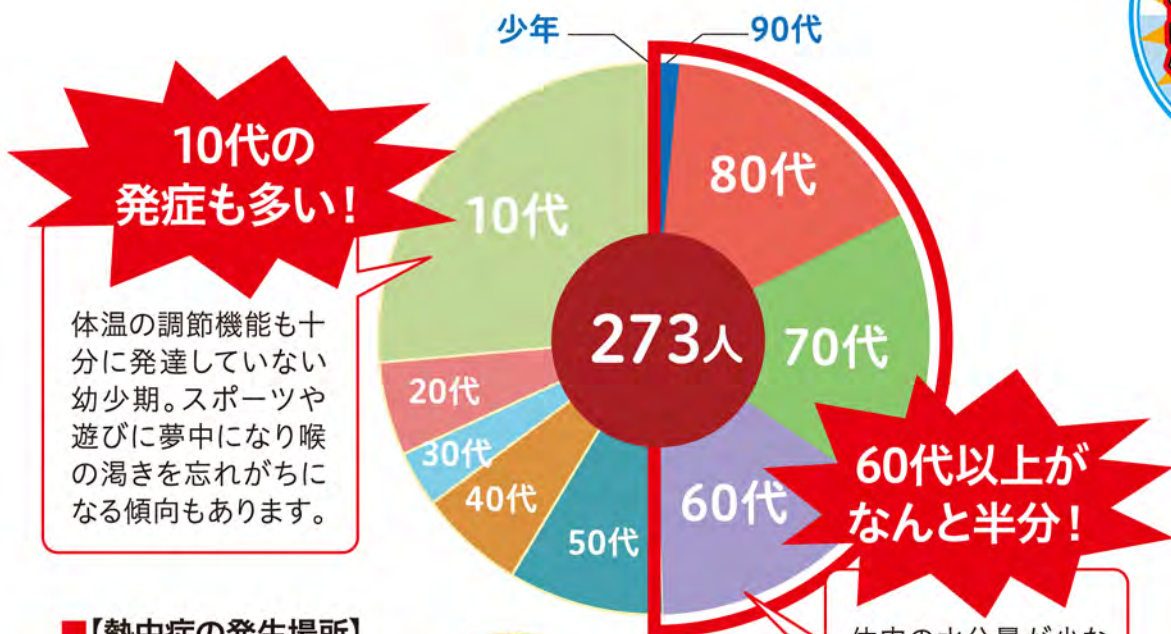




### ■佐賀県内 年代別熱中症(疑い)救急搬送者数

(平成26年5月31日～10月1日)



**10代の発症も多い!**

体温の調節機能も十分に発達していない幼少期。スポーツや遊びに夢中になり喉の渇きを忘れがちになる傾向もあります。

**60代以上がなんと半分!**

体内の水分量が少なく、体温をうまく調整できない高齢者。暑さやのどの渇きを感じにくいいため、気づかぬうちに発症するケースが多い。

### ■【熱中症の発生場所】

(佐賀県・平成26年)



**屋内でも油断大敵!**

「自分は大丈夫」  
そう思っているあなた! 要注意です!!

### 熱中症とは

熱中症とは、気温が高く蒸し暑い環境で、徐々に体内の水分量や塩分のバランスが崩れ、体温調節がうまくできなくなる状態をいいます。

若くて元気な人でも急に意識を失うことがあり、場合によっては、体温の上昇を抑えられず、重い後遺症を残したり、命を落としたりすることもあります。熱中症の症状は急激に進むため、「まだ大丈夫」と油断していると、いつのまにか重篤な状態に陥ることが多いのです。

熱中症の発生場所をみると、屋外はもちろん屋内での発症も42.5%と多いことが分かります。60歳以上で、トイレを気にして十分な水分をとらずに夜間に発症するケースや、エアコン不使用の部屋で体調不良を訴え救急搬送されるケースが県内でも非常に多くみられています。

### それって熱中症かも!見逃せないサイン

大量の発汗(または汗が出なくなる)、発熱、めまい、頭がぼんやりする、だるい、脱力感、吐き気、重い頭痛、高熱、嘔吐、けいれん、失神 など

